

令和8年



1月 給食だより



No.490 発行:阿見町立学校給食センター

あけましておめでとうございます 牛

冬休みが終わると、いよいよ今年度も残り少なくなってきます。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期ですね。まだまだ風邪やインフルエンザの流行も心配な季節です。体調管理に大切な食べ物のパワーを、児童生徒のみなさんにお届けできるよう努めてまいります。

今年はうま年!



うまのように野菜をたっぷり食べよう!



箸をうまく使いこなしてきれいに食べよう!



よく味わってうま味を感じよう!



「みんなで考えよう!学校給食レシピ」に応募いただいたレシピを1月も給食に取り入れます!!

<12月登場の公募献立より>



←「冬野菜のシチュー」

阿見町産のターサイやかぶ、キャベツが使われ、やさしい味が好評でした。

今年度も、地場産物を使用した給食レシピを募集し、12月より随時取り入れています。大量調理である学校給食用に、多少使用材料等をアレンジさせていただくこともありますが、できるだけ忠実に再現できるよう心がけ、大切に調理させていただきます。

たくさんのご応募、ありがとうございました。



<1月に登場する公募献立は…>

- ★さといものわふうカレー…あさひ小2年生 田口智輝さん
- ★たっぷりれんこんのミネストローネ…阿見中1年生 平川悠生さん
- ★れんこんカレーきんぴら…朝日中1年生 椎名悠斗さん
- ★カラフルレンコンサラダ…朝日中1年生 森江 陽香さん

採用となったレシピ・写真、実際に食べた児童生徒のみなさんの感想を町ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください!



学校給食レシピ募集
HP QRコード

茨城県立医療大学からの

“ワンポイントアドバイスコーナー”



冬の“かぜ”を防ごう!

冬休みが明けて皆さんいかがお過ごしでしょうか?



全国学校給食週間

1月24日から30日は全国学校給食週間です。日本の学校給食は、明治22年(1889年)に山形県鶴岡市で始まり、全国に広がっていきましたが、戦後の食糧難で子供たちの栄養状態が悪化すると、給食の必要性が叫ばれ、海外からも物資寄贈の申し出がありました。これを受け、学校給食が再開されたのです。世界中の人々からの温かい支援に感謝するとともに、教育の一環として行われる学校給食の意義を考え、その発展を期して、毎年、全国学校給食週間が実施されています。



阿見町の給食でもこの期間は、「おいしい阿見発見」「応募いただいた給食レシピ」「世界食べ物紀行」「リクエスト」等の献立を御用意しています。お楽しみに!

家に感染源を持ち込まないこと、外部にうつさないことを心がけましょう。

茨城県立医療大学 看護学科 教授 山口 忍